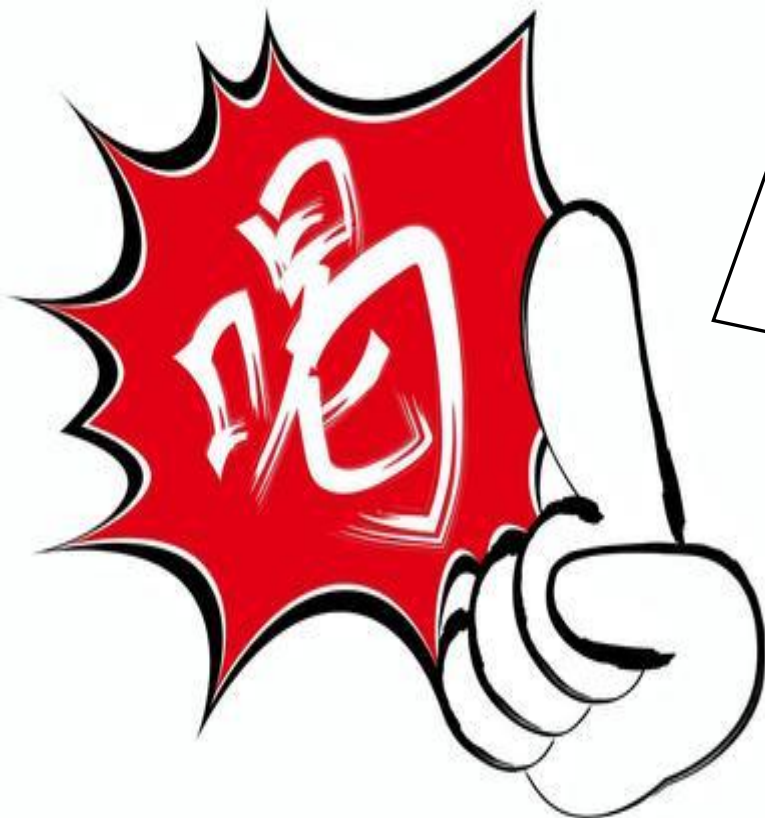


# ハイフィールド通信9月号

夏を終えた皆さんへ



夏休みも終わりを迎え、また学校が始まります。お盆休み後、皆さんに夏休みの学習状況について聞いて回ったところ、多くの生徒から「満足のいくものではなかった」との答えをいただきました。夏休み期間は普段より自由に使える時間があったはずですが、家族・親戚との用事や、部活・習い事で時間を取れなかったとの声もありましたが、約1ヶ月超の夏休み期間中、ずっと忙しかったということはないでしょう。忙しい時期があるなら、その分時間を取れる時に挽回できるはずですが、特に、現状での学力が足りていない人は、目標は更に遠のき、頑張った人には差を広げられたことを自覚してください。まだ間に合う人もいれば、もうどうしようもない時期に差し掛かっている人もいるかもしれません。後悔してからでは、遅いのです。今一度、自分を奮い立たせてください。

先を見据えて・・・

皆さんは進路をどのような視点で選んでいますか？通いやすいから、部活が強いから、自分の成績に合っているから、親・先生に勧められたからなど、おそらく十人十色の答えがあるでしょう。ですが、ハイフィールド生の皆さんには、更にその先を見据えた進路選びをしてほしいと思っています。

というのも、今の成績が低いからという理由で選んだ高校、大学に進んだとして、そこで人生は終わりではないからです。いずれ皆さんは社会に出て働き、給料をもらうことになります。優秀な学校を卒業する、良い資格を手に入れるなど、少しでも将来に繋がるような学生時代を過ごしてくれるのが理想的です。逆に言えば、何もせずに怠惰な日々を過ごした人には、それなりの仕事・給料しか待っていません。よく勉強が全てではないと言う人がいますが、それを口にできるのは、勉強ができる人・勉強以外の道で努力をしている人だけであり、決して勉強から逃げている人が言えるセリフではありません。更に言うと、妥協して進路を決めた人は、逃げ癖がついてしまうのではないかと不安になります。全力で取り組み、その結果第一志望の学校には惜しくも進めなかった人と、努力することから目を背け、逃げの選択をした人とでは、その先の人生で大きく差が出るはずですが、自分のなりたい未来像、稼ぎたい金額、過ごしたい生活をまずは明確にし、そこから逆算してこれからの行動を選択していきましょう。未来を良いものにするのも、それなりにするのも、ダメなものにするのも、すべてはあなた次第なのです。